



2024(令和6)年2月号

## 「立春なのに寒いですね」

霜柱が立つような寒い日が続いて  
ますね。立春の候、みなさん、いか  
がお過ごしですか。こんなに寒い  
のに「春」の字が使われるなんて  
不思議な感じですね。実は、『立』  
の字には「旅立つ」「出発」という  
意味があります。古来、立春の前  
日は寒い季節の最後の日とされ、  
翌日から寒さに別れを告げ春に  
向けて旅立つということから「立  
春」と言われ、立春の前日、つまり  
寒い季節の最後の日を「節分」と  
言うのだそうです。ちなみに、節  
分は立春の前日だけではなく、一  
年に4回あるのをご存じですか？  
立春の前日以外にも、立夏・立秋・  
立冬の前日は、全て「節分」と言  
い、まさに季節を分ける節目なの  
です。

## 日本の歳時記と浄土真宗

### 恵方巻

「恵方巻 予約受付中！」この  
季節になると、あちこちで見かけ  
るようになる「恵方巻」の文字、  
起源は諸説あるようですが、一番  
有力な説は、大阪の海苔業界が販  
売促進のために始めたという説で  
す。その後、コンビニエンスストアで  
販売するようになり、全国的に知  
られるようになりました。

この恵方巻の恵方とは、今年の  
幸福を司る神「歳神」のいる方角  
のことだそうです。節分に、その方角  
を向いて巻きずしを丸かじりする  
のが「恵方巻」の正しい食べ方と  
言われています。巻きずしに使わ  
れる具も「福を巻き込む」という  
意味で「七福神」にあやかり七種  
類が主流だそうです。そして、その巻

き込んだ福の縁を断ち切らない  
よう、包丁で切り分けずに、あえ  
て丸かじり(丸かぶり)して食べ  
るのだとか。でも、包丁を使わな  
くても、歯で噛み切るのであれば  
同じでは？と思うのですが…(個  
人の感想です)

色々な取り決めがあるようで  
すが、浄土真宗は方角の良し悪し  
を問題にする教えではありませ  
んし、丸かじりしないからと言って  
縁が切れるとも考えません。阿弥  
陀如来の救いは、あらゆる方角に  
常に働いていますし、縁とは人間  
の思考や能力を超えた結びつき  
ですから、私たちが意図して作れ  
るものではないのです。

なので、真宗門徒としての恵方  
巻の食べ方は、多くのいのちの「恵  
み」と多くの「方」のおかげと感謝  
しつつ、食べやすくして、美味しく  
いただくのが良いでしょう。

# 大晦日と1月の行事

## 除夜会・元旦会

除夜会 12/31(日) 16時～  
元旦会 1/1(月祝) 7時～

今年も大晦日に除夜会、元旦に元旦会を行い多くの方にご参拝いただきました。近くの郵便局に貼ってもらったチラシを見て来院された方も多数おられました!



除夜の鐘を打つ熊谷会長



元旦会の御流杯の儀

御流杯とは、新年に仏様に供えたお酒を参拝者で頂戴する儀式です

## 御命日法座・新年会

ご講師: 柳川真諦 師(東京都 光善寺)

1月14日(日) 午後1時～

当日は26名の方が聴聞されました。法座の後に開催された「お楽しみ抽選会」「新年会」は講師も参加いただき、大変盛りあがりました



柔らかな口調の柳川先生



1月が誕生日の方と



何が当たったかな?

# その他のお知らせ

## 東久留米分院からのお知らせ

### 2024年の年忌表

今年の年忌法要は、下記のとおりです。法要の予約は、お早めに!

法要種別	一周忌	三回忌	七回忌	十三回忌	十七回忌	二十三回忌	二十五回忌	二十七回忌	三十三回忌	三十七回忌	四十三回忌	四十七回忌	五十回忌	百回忌
ご往生された年	令和5年(二〇二三年)	令和4年(二〇二二年)	平成30年(二〇一八年)	平成24年(二〇一二年)	平成20年(二〇〇八年)	平成14年(二〇〇二年)	平成12年(二〇〇〇年)	平成10年(一九九八年)	平成4年(一九九二年)	昭和63年(一九八八年)	昭和57年(一九八二年)	昭和53年(一九七八年)	昭和50年(一九七五年)	大正14年(一九二五年)

東久留米分院では、法要の前後倒し・お葬儀の繰越(やり直し)が行えます。

昨今のコロナ禍や日時の都合など、様々な理由で法要・葬儀が出来なかったという経験をされた方から「今からでも可能か?」「命日前後でも可能か?」との連絡が多く寄せられています。東久留米分院では、法要の前後倒しや、葬儀のやり直しが出来ます。現在の主管(伊藤)は、これまで何度も法要の前後倒し・葬儀のやり直しを行ってきました。お気軽に当院へご連絡・ご相談ください。

## 奉讃会からのお知らせ

2月の「東久留米会館奉讃会 念仏奉仕講」は都合によりお休みします。

毎月1日に活動している東久留米会館奉讃会 念仏奉仕講ですが、2月1日は伊藤主管が終日不在のため活動をお休みいたします。

次回は3月1日の8時~10時に行います、私たち会員の力を合わせてお世話になっている東久留米分院の美化をいたしましょう! [奉讃会 会長:熊谷 武]

# 東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

## ▶ 2月の行事予定

### 常例法座（仏様の教え）

2月11日（日）午後1時～

ご講師：南條 了瑛 師（東京都 法重寺）

仏さまの教え（ものの見かた・考え方）を分かりやすくお話しします。聞き終わったら、きっと心の変化を感じると思います。一緒に聞きましょう！

## ▶ 3月の行事予定

### 御命日晨朝 総参拝

3月16日（土）午前7時～

月に1度の親鸞聖人御命日に、私たちと一緒に  
お寺で朝のお参りしませんか？  
参拝された方には、お供物をお渡しいたします。

### 春季彼岸会

3月20日（水祝）午後1時～

ご講師：山本 英哲 師（神奈川県 妙延寺）

お彼岸の法要を行います。過去帳をご持参くだされば、仏さまの前に奉呈（謹んでお供え）します。どたでも参加いただけます、ぜひお参りください。

## 先月のご進納

【お仏飯米】

近藤 敏之様 才野木 康雄様

【その他のご進納】

神谷正弘様「抽選会用品・景品」

熊谷 武様「お酒」・山下 肇様「お酒」

奉讃会「みかん」

（順不同）

誠にありがとうございました。

## 編集後記

いつも「ともしび」をお読みいただきありがとうございます。先日、私がお経を教えている団体の方が僧侶の研修会に参加した時「お経がとても良く唱えられている。」と指導員に褒められたそうです。指導員が褒めるのは大変珍しいので、会員からそのような方が出たことを嬉しく思うと共に、私もおごることなく研鑽せねばと身を引き締めた次第です。（伊藤）

東久留米会館会報「ともしび」

通 刊 334号

発行日 2024年2月1日

発行者 伊藤 法友

住 所 東京都東久留米市柳窪5-8-30

電 話 042-474-6787